

関西広域産業共創プラットフォーム News Letter

2024(令和6)年
7月末発行

● 関西広域産業共創プラットフォーム推進会議を開催しました

関西広域産業共創プラットフォーム（以下、「PF」という。）では、PF事業を効果的なものにするため、関西広域連合と公益社団法人関西経済連合会が意見交換を行う「関西広域産業共創プラットフォーム推進会議」を開催しています。

会議では、事務局より、PF事業の令和4年11月からの実績や令和7年度以降の計画について説明を行い、出席者の委員の方々から様々なご意見をいただきました。これらのご意見を活かして、さらなる事業推進につなげてまいります。



会議中の様子



会議終了後の集合写真

● 技術課題 個別相談会

池田泉州銀行×関西広域産業共創プラットフォームを開催しました

関西広域連合域内に拠点を有し、技術的な課題を抱える企業の課題解決に寄与するため、池田泉州銀行とPFの共催で、7月24日に個別相談会を開催しました。当日は、業種も様々な6社の企業にご参加いただき、PFの伊藤統括ディレクター、連携コーディネーター5名がご相談に対応しました。

具体的には、製造技術に関する課題や用途開発、自社製品製造に関する試験方法など多岐にわたるご相談に対して、アドバイスや支援策の提案を行いました。



池田泉州銀行



～事務局便り～

梅雨が明けて一気に猛暑が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。同じく猛暑のパリでは、オリンピックが始まりました。スポーツ独特の熱い応援もこれまた一気に高まっています。今後しばらくは、「暑さ」と「熱さ」を体感する日々になりそうです。

さて、当PFが活動してから累積160件以上の案件に対応してきておりますが、最近いくつかの特徴が見えてきました。一つは、中長期の取り組みが必要な案件の増加です。数ヶ月から1年程度取り組んでいる案件もあり、今後数年程度の支援が必要なものも出てきています。また、技術相談を越えて、新事業への展開を目指す案件も増えてきました。この傾向は、私どもにとってはまさに「我が意を得たり」です。ご相談者さまと一緒に、当事者意識を持って対応するという、PF精神が現実の社会ニーズに合っていることを実感します。

PF開始以来、多くの案件に対応する過程で、中核となる公設試の開発現場力の熱気とパワーを日々実感しています。PF活動のエネルギーとなるこの熱気と、クールな集団脳とを相乗させることで、関西広域の持続可能で健全な産業発展を実現すべく、事務局一同、より一層頑張っております。

科学雑誌 Newton 7月号 の特集記事を監修!!

(地独) 京都市産業技術研究所

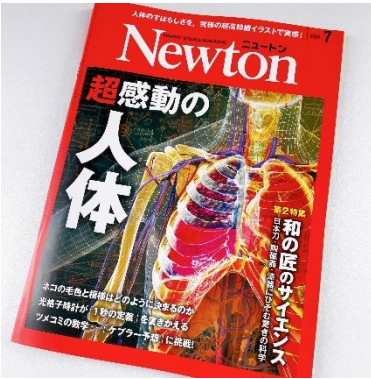
科学雑誌 Newton7月号の特集記事「和の匠のサイエンス」を監修しました。日本の伝統工芸の技術を科学的な視点で解説した記事となっており、京都市産技研の技術による事例も紹介されています。ご覧ください。

科学雑誌 Newton

<https://www.newtonpress.co.jp/newton.html>



Newton7月号
(2024年5月24日発売)



令和6年度研究発表会を開催します

奈良県産業振興総合センター

奈良県産業振興総合センターでは昨年度に実施した研究成果の発表会を開催します。口頭発表に加えて、ポスター発表での意見交換も行います。また、奈良県内の関係機関の施策も紹介します。

【日時】 令和6年8月30日(金) 13:00~16:40

【場所】 奈良県産業振興総合センター 1F イベントホール

〒630-8031 奈良市柏木町129-1

アクセス：近鉄橿原線西ノ京駅下車 東へ徒歩20分

⇒ <https://www.pref.nara.jp/28601.htm>

【参加費】 無料

【定員】 60名(先着順)

【内容】

○研究発表(口頭発表、ポスター発表)

○関係機関の施策紹介

○センター見学(希望者のみ)

※発表内容、プログラムの詳細はセンターHPに掲載しております。

⇒ <https://www.pref.nara.jp/58712.htm>

【申込方法】

申込フォームにてお申し込み下さい。

⇒ <https://forms.office.com/r/Hs8Wz0qr0X>

※右記QRコードからも上記URLへ移動できます。



【お問い合わせ】

奈良県産業振興総合センター オープンイノベーション推進室

TEL:0742-33-0817

ORIST技術セミナーを開催

(地方独立行政法人 大阪産業技術研究所)

ORIST技術セミナー
持続可能な社会の実現に貢献する
金属材料の特性向上・接合技術

金属は小さな電子部品から大きな構造物まで広く利用されている基幹・基盤材料であり、金属材料の高機能化や加工技術、接合技術の高度化は持続可能な社会の実現の鍵といわれています。

当研究所におきましても、金属材料を対象に、材料組成の改善や熱処理による特性向上を目指した技術開発を進めています。あわせて、素材を適材適所で使用するマルチマテリアル化に資する異種材料の接合技術の開発にも取り組んでいます。本セミナーでは、これらの取り組みについてご説明します。

◇日時：令和6年9月30日(月) 13:30 ~ 16:50 (13:00~受付開始)

◇場所：大阪産業創造館 4階 イベントホール
大阪市中央区本町1-4-5

◇主催：地方独立行政法人 大阪産業技術研究所
大阪産業創造館(公益財団法人 大阪産業局)

◇参加費：無料

◇定員：80名

※詳しくは以下をご覧ください。

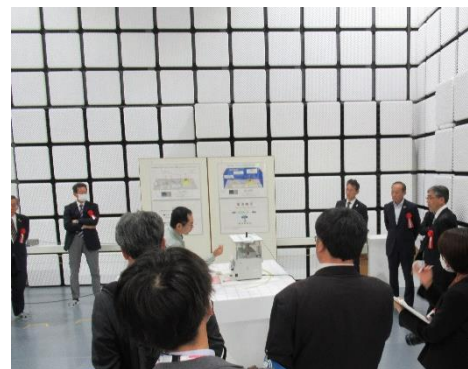
<https://orist.jp/orist/events/seminar/2024/09/20240930.html>



「デジタル高速無線通信・EMC 評価ラボ」を整備しました

滋賀県工業技術総合センター

最新の試験規格に適合したWi-Fi通信品質とEMC試験の同時評価のための測定システムその他、静電気放電試験を行うための温湿度制御可能なシールドルームと雷サージ試験を行うためのグランドプレーン室を新たに整備し、最新の試験機器を導入しました。



開所式(5月8日)の様子

※詳しくは以下をご覧ください。

広報誌テクノネットワークNo.140における開所式の記事

<https://www.shiga-irc.go.jp/info/technonetwork/>

※「デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ)」(令和4年度内閣府補正予算)を活用して整備しました。